ラーギニー

――彼は？
まだ
生きている！
……ラーギニーが
ずっと彼を
生かし続けると
思うか!?

これは　ほう
——美しい
娘たちだな？
おう
神妃のための
踊り子と
楽師たちだ
七人の
姉妹だと
杏仁のこかげでまつ
優曇華のこかげでまつ
わたしの
こころは
あなたの
ことばかり

わたしの
こころは
あなたの
ことばかり

考えこむとき
指を
かむくせが
まだ
ぬけないいな
ああ
研究局長
……
この配列には
置換(トランジション)が
起こってるん
です
……あれ?

れ…
これは
むかし
学校で
習った
図だ……

このデータは
ラーギニーに
入れておき
たまえ
ラーギニー
……?

世界を
構成している
きみも
データの
ひとつだよ

バンヤンの
こかげ
風吹く
菩提樹の
こかげ
あなたの
ことばかり
いとしい
いとしい
あなた

——なんの歌を歌っているのだ？娘たち
——これは神がみのための恋歌
おまえたちはなに事も考えずたえまなく踊り歌っているな
星を回してるのはだれだ？
では　だれが世界を続けてゆく？
タンブーラをかき鳴らし大地が響きにふるえるとき
七面の柱より成る世界は回るのだ
わたしら七人はなまけてはおれない
花に光に風に満つ時をつくるために
今日はサッシャ(魂)がかき鳴らし——

明日はリシャバ(頭)
そしてガンダーラ(腕)
いとしい
いとしい
あなた
マッディヤマ(胸)
パンチャマ(喉)
ダイバダ(腰)
ニシャッダ(足)
くりかえし
そして
世界は
永久に
続く
この音楽
ラーギニー
わたしの
こころは
あなたの
ことばかり
ラーギニー……
きみ
きみ
そら　あの
タンパクは
不活性かね
活性かね
オペロン王は
健在か
ああ
あれはもう
いいんです
もういい?
こいつはきみの
専門だよ
なんとかしないと
命があぶない
命なんて
世界は
永久ですよ
娘たちは
歌っている
庭で　森で

サッシャ！
毎日なにをしているの？
まえは不死の研究さ　いまは
キャッ
わたしの指はお菓子じゃないわよ！
でも味がする
ふん……
世界が永久なものかの見ろ　このひびわれを
おまえなふしあなってことばをしっとるか？
乾季のせいですよ

そう よく
見たまえ

これはいったい
どうしたんです
……?

現象じゃよ
え?
シィッ

あなた!

どうして
こんなとこに
来たの!
足もとから
くずれるわ!
サッシャ!

ジズ…!
こちらへ
来るんだ
いまが
チャンスだ!

行ってはだめ!
だめよ!
わたさないわ!!

追っ払って!
あなた!
消えろと
念じて!
シグル
そのタンブーラを
たたきこわせ!

まて
ま……

いったい
なんだ?
シグルと
呼んでた
ぼくの名か?
……こわい!
……こわい!

サッシャ
ここから
出ましょう
ここはいや
花の咲いた
木の下へ
行きましょう

…わたしの指
なんの味がする…？
わたしの
くちびる…
……
どうしたの？
ああ
考えごと
……

サッシャ！
うらぎりもの
——おまえは
タンブーラを
弾かなかったね！
おまえの番に！
タンブーラ!!
わたし
——!!
もう
おそい！
サッシャ？
柱が
くずれてゆく
あ
あ
もう終わりだ！
おしまいだ！

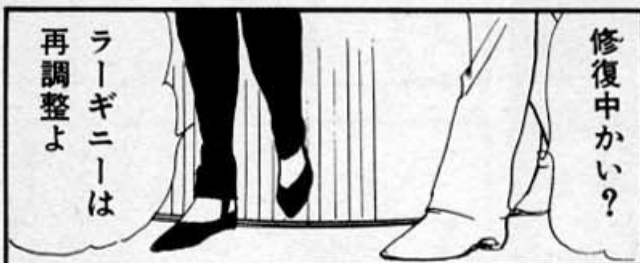
あなた…
サッシャ
サッシャ
だ…
れか……

気がついた? シグル
……ついた シグ
シグル
シグル
え……?
なにが……
ああ あなた リフトの事故で
調整中の ラーギニーの中へ 落ちたのよ
ラーギニー……?
コンピューター……?
思い出した?
七面構成の コンピューターよ
人造タンパクの海の まん中に……
覚えてない……
いつ……?
2か月前よ
2か月!?

あれは―― 半永久的な エネルギー回路を もってるはずで……
ふむ 回路を 分解するのは 骨だったよ
七面を 同時に やらないと 自動修復 してしまう もんでな
ラーギニーが 送り出した 君のデータだ 見るか

思ってたより 早く停止して よかったわ
たぶん パワーが 落ちたので コンピューター 内部に なにか 起こったのね

ラーギニーは フル回転して
あなたを 生かしてたわ
気分どう? 同室者(ルームメイト)が いないと 研究室が… たいくつで

なにか
――夢でも 見てた?
――覚えてない

そうだ…
思い出した
学生のころやった
公式を　必死で
といてる夢を
見たっけ……
たたるわね
苦学が
修復中かい？
ラーギニーは
再調整よ
ラーギニーってのは
音楽って意味
だっけ？
え？
そう
ラーガ…
男性音楽に
対して
女性音楽の
こと

《おわり》　SFマガジン　1980年2月号に掲載